

冬の菊池さん



菊池寛記念館コレクション展

第四次新思潮の青春



第四次新思潮のメンバー、菊池寛、芥川龍之介、成瀬正一、松岡譲、久米正雄

(画像は『まんがで知ろう！ 高松市が生んだ文豪 菊池寛』より)

場所… 菊池寛記念館 研究閲覧室
期間… 令和2年1月28日(火) ～ 3月31日(火)
入場無料

📖 第四次新思潮とは？

『新思潮』とは、東京帝国大学（現・東京大学）の学生を中心に継承・刊行された文芸雑誌です。明治40（1907）年に小山内薫が創刊し、谷崎潤一郎（第二次）、川端康成（第六次）、吉行淳之介（第十四次）、阿川弘之、曾野綾子、有吉佐和子（第十五次）など多くの作家を送り出しました。その中でも、第三次および第四次の『新思潮』に参加した菊池寛、芥川龍之介、久米正雄などは、「新思潮派」と呼ばれています。

第四次『新思潮』は夏目漱石を第一の読者として作られ、約1年、全11冊という短期間の刊行ではありましたが、芥川龍之介の「鼻」、菊池寛の「父帰る」などの名作が生まれました。

本展では、第四次新思潮に参加した5人のメンバーの青春の日々をたどります。

* 行事予定 *

※行事内容は一部変更になる場合がございます

◆ 菊池寛アニバーサリー ◆

菊池寛忌である3月6日(金)から3月15日(日)まで、菊池寛アニバーサリーを開催します。期間中、菊池寛記念館常設展示室で**古本まつり**、**クイズ**を実施するほか、様々なイベントがあります。また、菊池寛記念館前でゲーム「文豪とアルケミスト」に登場する菊池寛、芥川龍之介、久米正雄、直木三十五の**キャラクターパネルの展示**もします。

- ★3/6 (金) **菊池寛忌** 10:00-12:00 **ブラリきくちかん** (ウォーキングイベント) @中央公園集合
- ◆3/7 (土) 15:15-15:45 **「第四次新思潮の青春」ギャラリートーク** @菊池寛記念館 研究閲覧室
- ◆3/8 (日) 14:00-14:30 **「第四次新思潮の青春」ギャラリートーク** @菊池寛記念館 研究閲覧室
- ◆3/13 (金) 10:30-15:00 **幻の図書室が、あらわれます** @第1集会室
- ★3/14 (土) 14:00-15:00 **記念館資料にふれてみよう!** @第2集会室
- ◆3/15 (日) 13:00-16:30 **菊池寛劇場** (「父帰る」の朗読劇や合唱など) @視聴覚ホール



※古本まつりに提供していただける本を募集しています!

- ・菊池寛記念館受付までお持ちください。
- ・御提供いただきました古本については、当館の一任とさせていただきますので、御了承ください。

★印のイベントは申し込みが必要です。各イベントの詳細は市広報、チラシ、ホームページなどでお知らせします。

◆ 文芸講座 ◆

- ◆3/7 (土) 13:30-15:00 **「平家物語・建礼門院」のあはれ** 講師：小野 泰子氏 (元四国学院大学教授)
会場：サンクリスタル高松3階 第1集会室 **※申込み不要・入場無料・先着80名**

◆ 特別展示 ◆

- ◆3/1 (日)～3/31 (火) **3.11 文学館からのメッセージ「菊池寛と関東大震災」**
会場：サンクリスタル高松3階 菊池寛記念館受付前 **※観覧無料**

✍ 菊池寛と新思潮 📖

菊池寛は、友人の窃盗の罪をかぶって、第一高等学校を退学し、京都の大学へ進みました。第三次『新思潮』が刊行されたのは、その頃です。京都にいたのに除け者にされなかったのは、仲間たちの友情のおかげ、と寛は語っています。また、この時同人になっていなかったら、次の第四次『新思潮』にも参加できず、文壇に出られる機会を得ることはできなかつたらう、とも述懐しています(『半自叙伝』より)。『新思潮』がなければ、作家・菊池寛は誕生しなかつたかもしれません。

最後に第四次『新思潮』発刊を聞いて、久米正雄に送った書簡の一部を紹介します。

雑誌発刊のこと成瀬よりもきいた。活字になる当がなければ書けないほど創作発作
少い僕は雑誌がなければ何もかけないのだ。君たちの努力によってものになること
を望みかつ信じている (大正4年12月30日)



冬の菊池さん第50号

発行：令和2年2月7日 菊池寛記念館 (高松市昭和町一丁目2番20号/087-861-4502)
<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/kikuti/kantop.html>

